



安達忠勝先生を惜しむ

齋藤健二（昭48卒）

こんなに早く安達先生とのお別れの日が来てしまったことが残念でなりません。

平成三年、「感動は一生懸命の熱い風」のスローガンのもと開催された高校総体の年から、安達体育保健課長のことで働かせていただきました。この高校総体を大成功に導いた後、体育保健課の大きな事業として、国体とワールドカップサッカーの招致があります。

静岡国体の開催を決定する東海地区の会合に出掛ける日の朝、「国体を静岡に持つてくるから、楽しみに待つていてよ。」と言つて、ライバルである岐阜県に出発された日のこと、つい最近のように思い出されます。

平成十四年に「ワールドカップサッカー」が、そして翌年に「NEWわかふじ国体」が静岡で開催されました。この二大スポーツイベントの招致活動と開催の準備については、安達課長のお力がありました。この「高校総体」「静岡国体」、そして「ワールドカップサッカー」に関わる事

業の推進については、計り知れないほどのご苦労があつたと思われます。

安達課長は、ご自分がどんなに大変な時でも、常に明るい笑顔と温かなまなざしで接してくれました。そして、職員一人一人の考えを大切にしてくれる理想的な上司でした。

高校生のお孫さんのサッカーの試合が静岡エコパスタジアムで行われた時、ご家族と一緒に応援に駆けつけ、「このエコパスタジアムはじいじが計画して出来たものだよ。」と、とてもうれしそうに話をされたそうです。先生の得意げな顔が目に浮かびます。

期四年間に亘り、県同窓会の会長として、同窓会活動のキヤツチフレーズを「元気で行こう！日体大」と定めました。日体大同窓会の看板を堂々と表に掲げ、持ち前の明るさと斬新な考え方で、私達同窓生をゲングンとリードしてくれました。

平成十六年度には「柔ちゃんの集い」、十八年度には「池田敬子先生の講演会」を開催して、好評を博し、県内スポーツ界に、日体大パワーを感じさせる良い機会となりました。

生前の先生の教えは、これから生きて行くための大きな支えです。今まで通りの温かなまなざしで、高いところから見守っていてください。先生の御靈に対し心より追悼の意を捧げます。

合掌



安達忠勝先生のご略歴

昭和13年5月5日生まれ 平成28年8月10日ご逝去

- ・昭和32年3月 浜松北高校卒
- ・昭和36年3月 日本体育大学卒
- ・昭和36年4月～39年3月 浜名高校 教諭
- ・昭和39年4月～53年3月
浜松市立高校 教諭（13年連続バレーボール部全国大会出場）
- ・昭和53年4月～61年3月
県教育委員会体育保健課 指導主事、主席指導主事
- ・昭和61年4月～63年3月 焼津青少年の家 所長補佐
- ・昭和63年4月～平成7年3月
県教育委員会体育保健課 課長補佐、課長
- ・平成7年4月～9年3月 磐田北高校 校長
- ・平成9年4月～11年3月 浜松市立高校 校長
- ・平成11年4月～21年3月 浜松日体高校 校長

〈ご功績〉

- ・静岡県高等学校体育連盟 会長
- ・静岡県アーチェリー協会 会長
- ・静岡県スポーツ振興審議会 会長
- ・日本体育大学同窓会 副会長
- ・静岡県バレーボール協会 会長

〈ご叙勲〉

- ・平成22年5月 叙勲 瑞宝小授章
- ・平成28年9月 没後 叙位 正六位

安達先生は、平成十二年度より二